

西部中だより

西部中学校便り No 2
令和6年 6月14日
文責 校長 吉牟田一広

「今日の〇〇が楽しかった。」

毎日、すべての生徒がそう言えるような、魅力ある教育活動を実施したいと考えています。周りの人や出来事との関わりの中で自分の良さを引き出し、お互いの良さを認め、成長を心から喜び合う、そういう「楽しさ」をたっぷりと味わってほしいと思います。そうすれば、自分のことや相手のことがもっと好きになり、お互いが大切でかけがえのない存在だと心から思えるようになり、大きな安心感に包まれることでしょう。それが今年度の重点目標の一つ目に掲げる「今日が楽しい絶対的安心感の醸成」です。



3年生の修学旅行が終わってから、生徒会長・副会長と対談をしました。「修学旅行どうだった？」と大雑把に尋ねると、「楽しかったです。」とシンプルな回答。「次、なんて聞きたいかわかるでしょうか？」と問うと、「何が？…ですよね。」と言ってから楽しかった一つ一つの活動を教えてくれました。「次は？」とつないでたどり着いたのが、この楽しさの中身です。

- ・ いつもと違う開放感があり、思いっきりはしゃいで楽しかった
- ・ 体験学習で、普段しゃべらない人と同じ班になって、「〇〇な人だなあ」という発見があった
- ・ 新しい友達が増えたような気持ちになって嬉しかった
- ・ まじめそうな人が遊び心をもっていて意外だった
- ・ エレベーターの中で社会人としてのマナーや心構えを意識した
- ・ みんなの仲が深まった、これから仲間を思いやる人が増えたら良いなと思う

絶対的安心感の土台が固まる良い経験ができたことを嬉しく思います。修学旅行実行委員長も解団式で、「ぼくは友達との仲を深めることができ最高に楽しい3日間でした。」と満足感を口にしていました。これから仲間を思いやる人が増えるような生徒会の意志ある取組を期待したいと思います。

「またやりたい！」

修学旅行期間中、2年生と1年生も学年行事に取り組みました。2年生は「第2学年大運動会」、1年生は「第1回クラスマッチ」です。内容こそ違いますが、ともに「親睦を深め学年としてのまとまりを高める」「個性を表現する」「企画・運営を任せてリーダーを育てる」といったことを目指した取組です。



2年生の団体戦の種目では、みんなで心を合わせることの心地よさを感じたり、その種目が苦手な生徒への励ましの声が響いたりして、学級が一つになる手ごたえを大いに感じたとのことでした。1年生も、生徒の目がキラキラと輝き満足度の高い行事になったとのこと。生徒同士や生徒と職員との距離感がとても近くなって良かったと職員も満足したみたいです。

また、実行委員のリーダーぶりも素晴らしく、いろいろなところに気を配って運営しなくてはならないということを職員の姿を見て学んで、自分たちの行動に移すことができていたそうです。人を動かすということがどれだけ大変なのかということを知る機会にもなり、裏方の大変さが身に沁みたのではないのでしょうか。

2年生、1年生ともに、「またやりたい!」という生徒の声が多く聞こえた学年行事。「校内外での人や出来事との関わりを重視し、教育活動の見直しを図る」ことが**重点目標の二つ目**です。「関わり」を重視し魅力ある活動を企画してくれた生徒と職員の皆さんに心から感謝します。

「総がかり」

西部中学校コミュニティ・スクール(CS)が2年目を迎えました。本校のCSは「地域が総がかりで生徒を育てる持続可能な仕組みづくり」です。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、時には連携して学校教育目標の実現に向かうことができるよう、具体的なカタチづくりを**重点目標の三つ目**として取り組みます。その議論をする場が学校運営協議会です。

6月11日(火)に第1回の学校運営協議会を開催しました。総がかりで生徒を育てる仕組みづくりですから、議論は中学校の枠で収まるものではありません。そこで、今年度は学校運営協議会のメンバーを拡大し、校区内4小学校PTA会長の皆さまと青年会議所の代表の方にも加わっていただきました。

まずは、「インターネットの安全利用に向けた総がかりの取組について」という柱で意見交換。SNSのトラブルの現状を共有し、トラブルを生まないために総がかりで何ができるかということをもみんなで考え知恵を出し合いました。詳しくは、学校運営協議会発行の「コミュニティ・スクールだより」でお知らせします。

今年度は、「インターネットの安全利用」を話題にして年3回の協議会で熟議を重ねていきますが、話題(課題)が変わっても「総がかり」でその解決に向かうことができるような持続可能なカタチが少しずつでもできれば良いなと考えています。そのために、保護者の皆さま、地域の皆さまのお力をどうかお貸してください。

